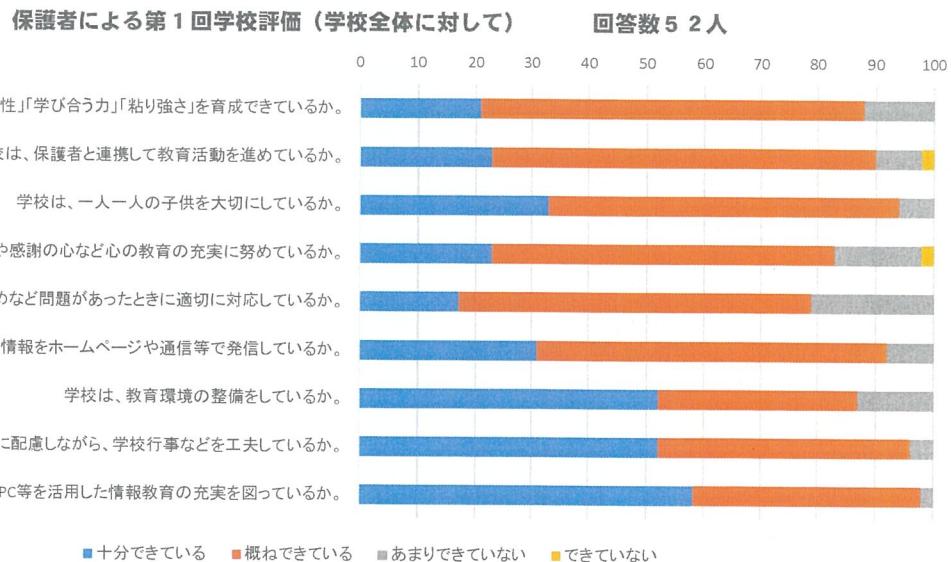
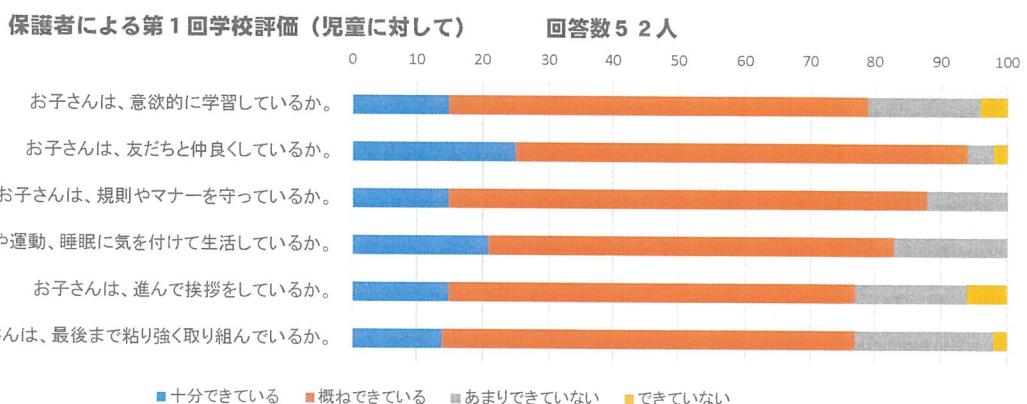


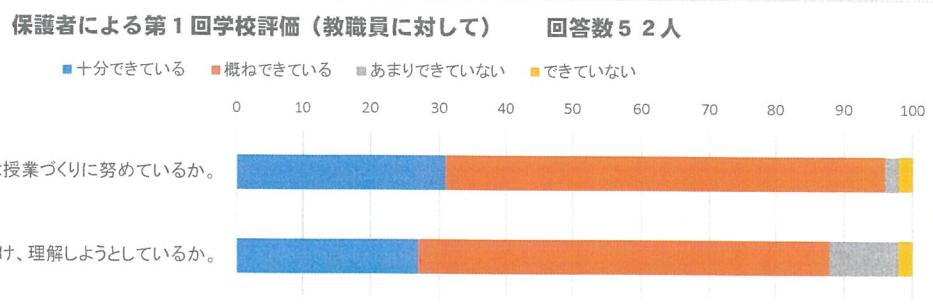
令和4年度学校評価（第1回保護者分）結果の概要について



9項目のうち8項目について好意的な評価（十分できている及び概ねできているが8割超）をいただいている。特に、「一人一人の子どもを大切にした教育活動」や「学校の情報の発信」、「学校行事の工夫」や「情報教育の充実」に関しては、とても高い評価をいただいている。ICT活用や感染症予防対策の徹底等、日々の取組を組織で一体となって進めてきたことが要因と考える。一方、「保護者と連携した教育活動」や「いじめ等への対応」、「心の教育の充実」については、やや評価が低くなっている。コロナ禍の影響もあるが、保護者との連携を深める取組を工夫するとともに、人権教育や道徳教育の進め方を再度見直し、児童が互いに思いを述べ合う中で、学びを深める授業づくりを進めていく必要がある。

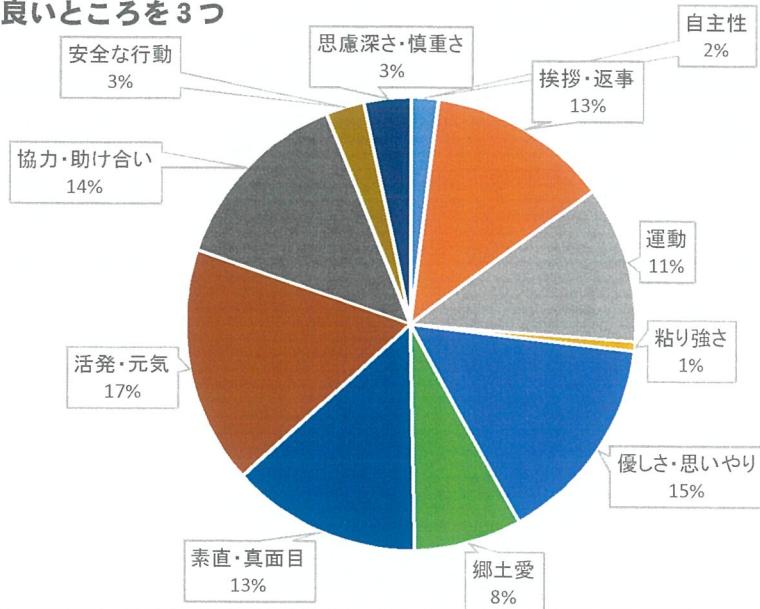


規則の遵守や交友状況については、概ね高い評価を得ている。一方、挨拶や意欲的な学習に関しては、昨年度同様に改善を要する。学校における学習や生活の指導の在り方を見直し、「認め・ほめ・励まし・のばす」関わりを大切にするとともに、保護者や地域と連携した取組を進めていくことが大切である。学校ホームページや学年通信、学級懇談会等での啓発等を行い、学校と家庭、地域が連携した取組を進めていきたい。

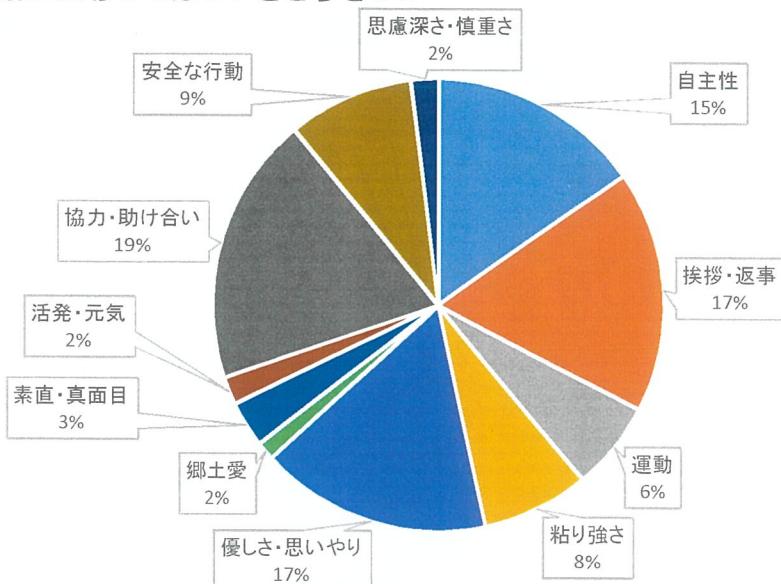


両項目ともに好意的な評価が9割前後で、有り難く感じるとともに教育活動を進めていく上での支えとなる。ただ、「できていない」とする回答もあるため、再度、職員で授業の進め方を振り返り、校内研修や校外での研修・復講等を通じて、一人一人の児童に目を向けた丁寧な授業づくりを進めていきたい。

岩野小の子供の良いところを3つ



学校が子供に特に指導してほしいところを3つ



岩野小の子供の良いところで割合が高かった項目は、「活発・元気」「優しさ・思いやり」「協力・助け合い」であった。学校での学習や生活の状況から、評価結果につながる児童の姿を多く見ることができる。一方、「粘り強さ」「自主性」「思慮深さ・慎重さ」については割合が低く、「自主性」に関しては、学校が特に指導してほしい項目でも割合が高くなっている。児童の状況をしっかり見届け、できないことに目を向けることなく、できたことをしっかりと認めたり、できるように支援や励ましを続けたりしながら、児童のよりよき成長を支えていきたい。